株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権　3月31日 期末配当　3月31日 中間配当　9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所　市場第一部
証券コード	8692
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 http://www.daiko-sb.co.jp/koukoku/index01.html ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上記お問合せ先／郵便物送付先	〒137-8081　東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 電話　0120-232-711（通話料無料） 受付時間 9：00～17：00　（土・日・祝日、12月31日～1月3日を除く）

〈株式に関する各種お手続き〉

1. 届出住所などの変更、配当金の振込先の指定、単元未満株式の買取請求および買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にて承りますのでお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 当社は東京・大阪両証券取引所に上場していましたが、大阪証券取引所は平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行ったため、当社の上場証券取引所は東京証券取引所になっております。

株式会社 だいこう証券ビジネス

〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町13番1号

電話（03）3666－2231（代表）

http://www.daiko-sb.co.jp

株式の状況

（2013年9月30日現在）

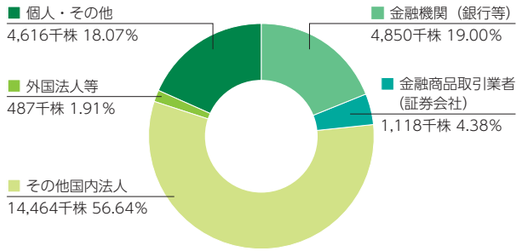
株式の状況

発行可能株式総数	66,240,000株
発行済株式総数	25,537,600株
株主数	5,050名

大株主の状況

会社名	持株数（千株）	持株比率（%）
株式会社野村総合研究所	10,513	41.16
野村ホールディングス株式会社	3,570	13.98
株式会社りそな銀行	699	2.73
株式会社三井住友銀行	699	2.73
株式会社三菱東京UFJ銀行	690	2.70
株式会社池田泉州銀行	572	2.24
株式会社みずほ銀行	565	2.21
藍澤證券株式会社	496	1.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	366	1.43
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	338	1.32

所有者別分布状況



UD FONT

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK

第58期 中間報告書

2013年4月1日～2013年9月30日

株式会社 だいこう証券ビジネス

『本格的な業容拡大』の実現を成し遂げ、磐石な経営基盤の確立を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第58期上半期（2013年4月1日から2013年9月30日まで）の事業の概況について、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

多田　斎

当上半期におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済対策による景気回復への期待感から円安や株価上昇もあり、着実な持ち直しの動きが見られました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画（2011年度から2013年度まで）の最終年度となる2013年度において、『本格的な業容拡大』の実現を果たすため、引き続き、「サービスの高品質化・高付加価値化」および「業務体制の効率化」を柱とした諸施策に鋭意取り組んでおります。

当上半期の経営成績につきましては、NISA（少額投資非課税制度）関連業務の受託開始や株式市況の回復により業務量が増加したこと、また、2012年7月に連結子会社となったケーシーエス株式会社の業績が加わった影響等により、営業収益は141億35百万円（前年同期比74.1％増）と初めて100億円を超え、上半期ベースの過去最高を大きく更新いたしました。また、営業利益は前年同期に比べて343.6％増の13億45百万円、経常利益は前年同期に比べて288.9％増の14億27百万円となり、いずれも大幅増益を達成いたしました。なお、金融商品取引責任準備金繰入れ1億84百万円を特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は9億31百万円（前年同期比98.5％増）となりました。

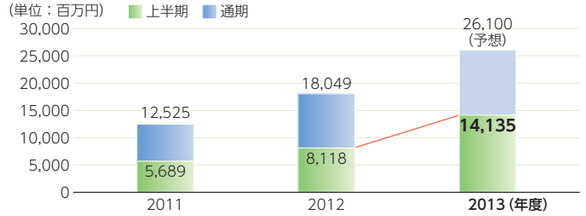
当下半期につきましても、引き続きNISA関連業務の着実な遂行を図るとともに、業容拡大と収益の向上に努め、磐石な経営基盤の確立を目指してまいります。

第58期（2013年度）の連結業績予想につきましては、NISA関連業務の拡大や株式市況の回復により業務量が増加したこと等を受けて、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想（2013年4月26日）を上回る見通しとなりましたので、営業収益261億円、営業利益20億円、経常利益21億円、当期純利益13億円にそれぞれ上方修正いたしました。

株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

営業収益



74.1％増

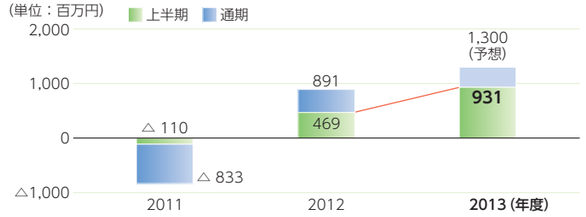
(前年同期比　+6,016百万円)

営業利益

343.6％増

(前年同期比　+1,042百万円)

四半期(当期)純利益



98.5％増

(前年同期比　+462百万円)

2013年度の通期業績予想 (2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位：百万円)

	2012年度 (第57期)	2013年度（修正） (第58期)	前年度比増減率 (％)
営業収益	18,049	26,100	44.6
営業利益	1,106	2,000	80.7
経常利益	1,205	2,100	74.2
当期純利益	891	1,300	45.7

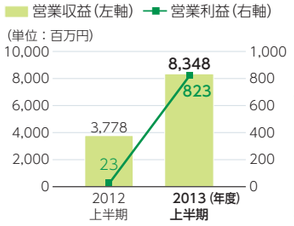
※上記業績予想（修正）は、2013年10月25日に公表しております。

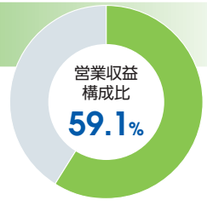
バックオフィス事業

証券会社設立支援コンサルティング
- 証券会社設立に伴う登録申請などの当局対応
- 業務運営に係るスキーム構築など

証券事務
- 口座開設、証券決済
- 相続手続き事務代行サービス
- 電子文書管理サービス(D-FINDS) など

保管／配送／メーリング
- 有価証券、重要書類などの現物保管・配送
- 重要書類の印刷・封入・封緘・圧着処理など





営業収益 **8,348**百万円（前年同期比121.0%の増収）

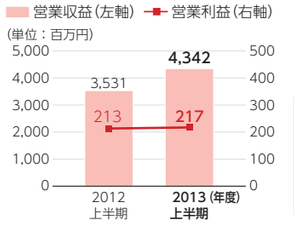
営業利益 **823**百万円（前年同期比799百万円の増益）

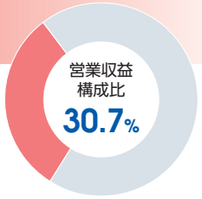
NISA（少額投資非課税制度）関連業務の受託開始により口座開設業務やメーリング業務等が大幅に拡大いたしました。これらの結果、営業収益は前年同期比121.0%増加の83億48百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比7億99百万円増加の8億23百万円となりました。

ITサービス事業

証券関連システムの開発、提供、運用、保守

2012年7月に連結子会社となったケーシーエス株式会社の業績が加わった影響等により、営業収益は前年同期比23.0%増加の43億42百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比2.0%増加の2億17百万円となりました。





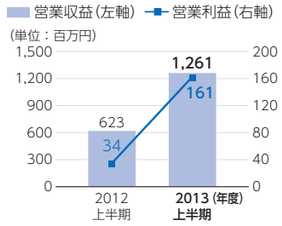
営業収益 **4,342**百万円（前年同期比23.0%の増収）

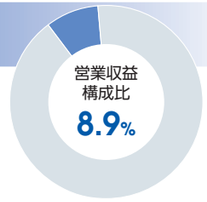
営業利益 **217**百万円（前年同期比2.0%の増益）

証券事業

市場執行
清算取次
口座管理サービス
- 株式等間接口座管理サービス(CLS)
- 投信・一般債口座管理サービス
- 担保有価証券管理サービス
- 商品先物充用有価証券管理サービス

商品供給サービス





営業収益 **1,261**百万円（前年同期比102.4%の増収）

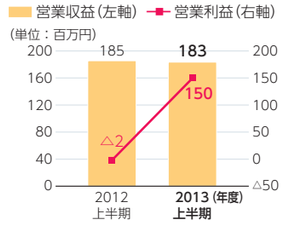
営業利益 **161**百万円（前年同期比365.8%の増益）

株式市況の回復により顧客証券会社からの委託手数料や信用取引に伴う金利収入等が増加いたしました。これらの結果、営業収益は前年同期比102.4%増加の12億61百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比365.8%増加の1億61百万円となりました。

金融事業

証券担保ローン

営業収益は前年同期並みの1億83百万円となりました。また、株式市況の回復を受けて貸倒引当金繰入額が減少したことにより、セグメント利益（営業利益）は前年同期比1億52百万円改善の1億50百万円となりました。



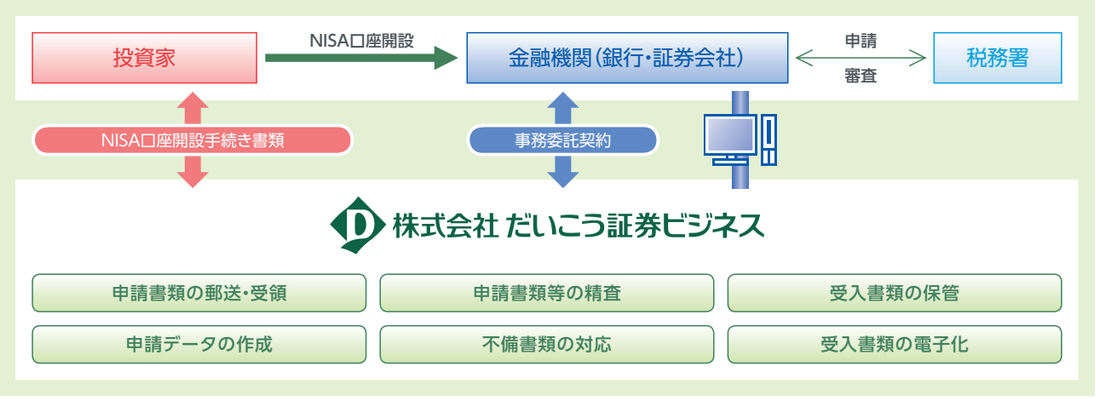
営業収益 **183**百万円（前年同期比1.1%の減収）

営業利益 **150**百万円（前年同期比１億52百万円の改善）

TOPICS 1　NISA口座　事務代行サービス　大幅に拡大

2014年1月より、NISA（少額投資非課税制度）がスタートします。これに先立ち、2013年10月1日より、税務署へのNISA口座開設に関わる申請が開始されました。申請開始日には、全国の税務署における申請件数が約358万件（国税庁発表）に達し、NISAへの関心は高まりをみせています。NISA開始により、個人投資家層の裾野が拡大し、「貯蓄から投資へ」という流れが一層進むと期待されています。

NISAは、現在一人につき1つの金融機関でしか口座開設できないため、多くの金融機関ではNISA口座獲得に向けてキャンペーン等を実施しています。当社は、NISA口座開設から、書類の保管、電子化に至るまでをパッケージとした事務代行サービスを開始し、各金融機関におけるNISA口座獲得を強力にバックアップしております。引き続き、当社グループの総力を挙げて迅速かつ的確に業務を遂行し、お客様からの高い信頼を維持するとともに、より一層のサービスの向上を図ってまいります。



NISAとは？

NISA（少額投資非課税制度）とは、2013年12月末に終了する証券優遇税制（軽減税率10%）に代わり、2014年1月から開始される新たな制度です。証券会社や銀行、郵便局などの金融機関で、少額投資非課税口座（以下、NISA口座）を開設して上場株式や株式投資信託等を購入すると、本来20%（復興特別所得税を含めると20.315%）課税される配当金や売買益等が、非課税となります。購入できる金額は年間100万円までで、非課税期間は5年間です。

TOPICS 2　『第1回　証券経営者セミナー』を開催

9月18日、当社主催、BNPパリバ証券株式会社共催にて、「第1回　証券経営者セミナー」を開催いたしました。

当セミナーには、当社が証券取引所への売買注文の取次サービスや外国債券などの商品を提供しているお客様を始め、全国から多くの証券会社経営者の方々にご参加いただきました。

今回は、BNPパリバ証券のチーフエコノミスト河野龍太郎氏（アベノミクスのシナリオや中国経済の今後について）とチーフストラテジストの丸山俊氏（消費増税による政治・経済学、内外投資家動向、今後の日本株式市場について）にご講演いただきました。

証券・金融業界を取り巻く環境が大きく変化しているなか、現状と課題を把握し、いかに対応していくのかが証券会社にとって極めて重要となります。今後もお客様のニーズに応えるべく、セミナー開催を含め、より良いサービスの提供に努めてまいります。

TOPICS 3　ニッキン主催のセミナーおよび展示会にて、電子文書管理サービス「D-FINDS」を紹介

8月28日、ニッキン（日本金融通信社）主催による「金融サービス特別セミナー」にて、電子文書管理サービス「D-FINDS（ディファインズ）」を紹介いたしました。

また、10月17・18日には、日本最大の金融ITフェア「FIT2013」（金融国際情報技術展）が開催され、当社は、協業でサービス提供を行っているコクヨS&T株式会社のブースにて、「D-FINDS」の展示を行いました。

各金融機関では、取扱商品に関わる膨大な書類を管理しています。当社の「D-FINDS」は、システム上でのデータ管理と当社保管施設による書類管理を一体化したトータルソリューションであり、書類管理の手間を大幅に削減します。NISAに関わる申請書類の他、預り資産関連書類（投信、保険）への展開等、事務効率化への提案をいたしました。今後も、新規受託につながる積極的な営業を推進してまいります。

四半期連結財務諸表(要旨)

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科　目	前年度末 (2013年3月31日)	当第2四半期末 (2013年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	39,782	49,567
現金及び預金	4,627	7,091
預託金	576	551
営業貸付金	14,731	13,824
信用取引資産	11,823	15,472
たな卸資産	19	31
営業未収入金	1,807	2,669
有価証券	202	202
短期差入保証金	5,480	9,357
その他	680	467
貸倒引当金	△ 166	△ 101
固定資産	12,752	11,910
有形固定資産	1,743	1,734
無形固定資産	6,424	5,928
ソフトウエア	6,170	5,703
その他	253	224
投資その他の資産	4,584	4,247
投資有価証券	2,862	2,992
その他	1,910	1,464
貸倒引当金	△ 188	△ 209
❶ 資産合計	52,534	61,478

科　目	前年度末 (2013年3月31日)	当第2四半期末 (2013年9月30日)
(負債の部)		
流動負債	25,609	33,421
短期借入金	8,942	11,385
信用取引負債	8,047	9,466
有価証券担保借入金	250	355
短期受入保証金	4,962	8,566
その他	3,407	3,647
固定負債	1,587	1,666
退職給付引当金	1,120	1,140
その他	467	525
特別法上の準備金	243	427
金融商品取引責任準備金	243	427
❷ 負債合計	27,440	35,515
(純資産の部)		
株主資本	23,703	24,443
資本金	8,903	8,903
資本剰余金	11,727	11,727
利益剰余金	3,125	3,866
自己株式	△ 53	△ 53
その他の包括利益累計額	581	686
その他有価証券評価差額金	581	686
土地再評価差額金	△ 0	△ 0
新株予約権	22	32
少数株主持分	786	799
❸ 純資産合計	25,094	25,962
負債純資産合計	52,534	61,478

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

POINT

❶ 資産合計

主に営業貸付金やソフトウエアが減少し、現金及び預金、信用取引資産、短期差入保証金が増加したことにより、前年度末に比べ89億43百万円増加しております。

❷ 負債合計

主に短期借入金、信用取引負債、短期受入保証金が増加したことにより、前年度末に比べ80億75百万円増加しております。

❸ 純資産合計

主に利益剰余金が増加したことにより、前年度末に比べ8億68百万円増加しております。

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科　目	前第2四半期 (2012年4月1日～2012年9月30日)	当第2四半期 (2013年4月1日～2013年9月30日)
❹ 営業収益	8,118	14,135
営業費用	5,032	9,190
営業総利益	3,086	4,945
一般管理費	2,783	3,600
❺ 営業利益	303	1,345
営業外収益	63	81
営業外費用	0	0
経常利益	367	1,427
❻ 特別利益	419	109
❼ 特別損失	68	244
税金等調整前四半期純利益	718	1,292
法人税、住民税及び事業税	233	231
法人税等調整額	△ 46	57
少数株主損益調整前四半期純利益	531	1,004
少数株主利益	61	72
四半期純利益	469	931

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科　目	前第2四半期 (2012年4月1日～2012年9月30日)	当第2四半期 (2013年4月1日～2013年9月30日)
❽ 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 794	313
❾ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,109	△ 36
❿ 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,129	2,187
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	–
現金及び現金同等物の増減額	227	2,464
現金及び現金同等物の期首残高	5,036	4,829
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,264	7,294

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

POINT

❹ 営業収益

NISA関連業務の受託開始や株式市況の回復により業務量が増加。また、2012年7月に連結子会社となったケーシーエス株式会社の業績が加わったこと等により、前年同期に比べ74.1%増の141億35百万円となりました。

❺ 営業利益

NISA関連業務等の業務量の増加に伴い費用は増加しましたが、営業利益は、前年同期に比べ343.6%増の13億45百万円となりました。

❻ 特別利益

主に投資有価証券売却益44百万円であります。

❼ 特別損失

主に金融商品取引責任準備金繰入れ1億84百万円であります。

POINT

❽ 営業活動によるキャッシュ・フロー

主に税金等調整前四半期純利益12億92百万円、信用取引資産の増加額36億49百万円、短期差入保証金の増加額38億70百万円、短期受入保証金の増加額36億4百万円によるものであります。

❾ 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に無形固定資産の取得による支出3億32百万円によるものであります。

❿ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に短期借入金の純増加額24億43百万円によるものであります。

会社の概要（2013年9月30日現在）

会社概要

社　　名	株式会社だいこう証券ビジネス
英文社名	Daiko Clearing Services Corporation
設　　立	1957年5月
資 本 金	89億3百万円
本社所在地	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町13番1号 電話　(03) 3666-2231 (代表)
事 業 所	本社 大阪本部 金沢支社 岡山支社
子 会 社	日本クリアリングサービス株式会社 株式会社ジャパン・ビジネス・サービス ケーシーエス株式会社

役員

代表取締役会長	山本　晃
代表取締役社長	多田　斎
常務取締役	風神浩三
常務取締役	御園生悦夫
取締役常務執行役員	成神克雄
取締役	小林博之
取締役（社外）	船倉浩史
取締役（社外）	秦　喜秋
監査役（常勤）	岩崎　均
監査役（社外）	石川孝憲
監査役（社外）	忠内幹昌
監査役（社外）	田口和夫

ホームページのご案内

当社ホームページでは、サービス案内をはじめ最新の企業情報等を提供しております。ぜひご利用ください。

（トップページ）

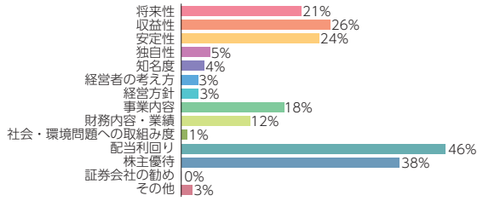
（株主・投資家情報）

http://www.daiko-sb.co.jp

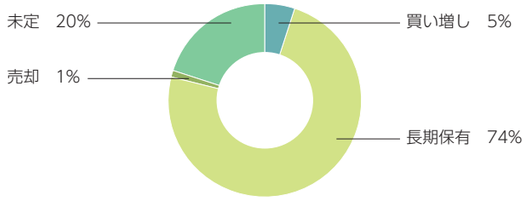
株主アンケート結果のご報告

第57期年次報告書にて実施しましたアンケートに対し、152名の株主の皆様からご回答をいただきました。心より御礼申し上げます。ここではアンケート結果の一部をご報告いたします。

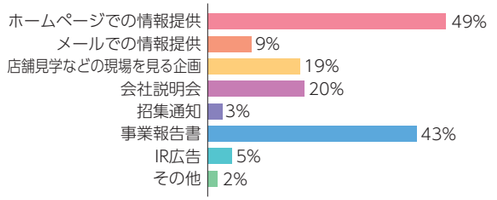
Q 当社の株式を購入された理由を教えてください。(複数回答可)



Q 当社の株式に対する保有方針を教えてください。



Q 当社のIR活動について、特に充実を希望することを教えてください。(複数回答可)



株主の皆様からの声を紹介します。

- これからもますますの発展を期待するとともに、今後、100年、200年と末永く社会に貢献していってもらいたいと思います。
- NISA口座は新しいビジネスチャンスです。ぜひ、強みを生かした経営努力を期待します。

株主の皆様からのご意見・ご要望は、株主施策やIR活動の参考とさせていただきます。今後も皆様とのコミュニケーションの一環として、アンケートを行ってまいりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

配当について

2013年度の中間配当

普通株式１株につき	7円50銭	なお、期末配当金は1株につき、7円50銭を予定しております。
配当金総額	190百万円	
配当効力発生日	2013年12月9日	